

# NSC Database Library

## NSCデータベース製品（NSCStandard版）のご案内

お客様が保有する情報システム環境との親和性を確保するため、公益財団法人国土地理協会が提供する全国町字ファイルの11桁住所コード(町丁単位)に準拠した、NSCStandard版データベースのラインナップを紹介します。

## 推計就業者所得

### 就業者所得とは

地域別に、平均的な就業者所得はどの程度なのか、どれ位の所得の人がどれ位いるのかを知りたいというニーズから生まれた商品です。

就業者の所得に影響が強いと考えられる居住地、性別、年齢、就業先産業による格差に着目し、国勢調査、賃金構造基本統計調査などを用いて作成したデータベースです。

所得ランク別の推定にあたっては、賃金構造基本統計調査における性別年齢別産業大分類別の平均所得額に応じた各ランクへの分散傾向をモデル化し配分することとしました。

### 就業者所得指標区分

就業者所得指標
就業者所得額
全所得ランク合計就業者数
300万円未満所得就業者数
300～500万円未満所得就業者数
500～700万円未満所得就業者数
700～1,000万円未満所得就業者数
1,000万円以上所得就業者数
就業者1人当りの所得額

※当データベースの提供年次は、2016年です。

# 推計就業者所得(活用事例・価格)

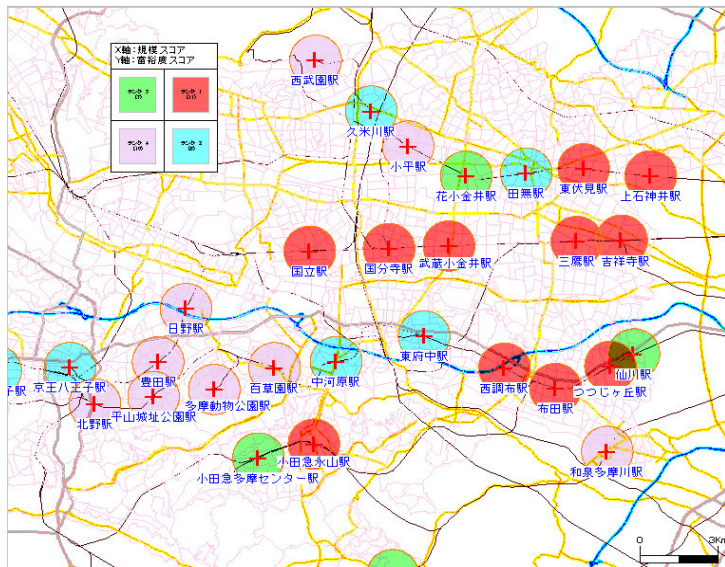
## 概要

### ★活用事例

- 一定収入以上(下図参照、ここでは700万円以上)の就業者数規模を確認  
⇒特定商品の折込チラシ配布エリア等の絞り込み、地域別販売目標の設定等に利用できます。
- 推計就業者1人当りの所得額指標を使って、営業エリア、商圈範囲等における所得水準を判断  
⇒営業を掛ける場合の推奨商品の選定、または来客型の場合の品揃えの検討材料等に利用できます。
- スコア化することにより地域特性としての富裕度を評価  
⇒既存店や出店候補地の立地性を評価するための要素として用いることができます。

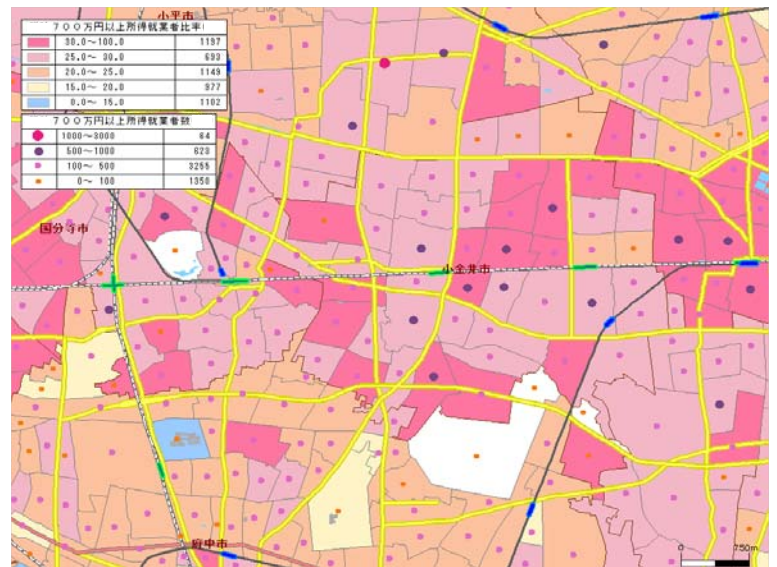
## サンプルマップ

駅周辺地域(1km圏)の規模スコアと富裕度スコアによる  
ランクマップ



規模スコアと富裕度スコアの散布図のランク値をマップ上に表したものです。地図上で見ることにより市場規模と富裕度の両面からみた駅周辺地域の地域特性を俯瞰することができます。

700万円以上所得就業者比率と同就業者数



所得額が一定収入以上(ここでは700万円以上)の就業者比率により、各町丁の塗り分けを行っています。また、各町丁に表示したポイントの大きさは、700万円以上所得就業者の数の多さを表しています。

## 価格

価格は地域・利用クライアント数により変動致します。詳細についてはお問い合わせください。

全国 2,500,000円、1都3県 459,200円、東京都 162,000円 (例:1クライアントの場合)

※上記金額は、消費税別価格です。(提供形態により別途編集費用が必要となります。)

## お問い合わせ先

東京・大阪・北九州の各拠点、または[homepage@nihon-toukei.co.jp](mailto:homepage@nihon-toukei.co.jp)

※ご購入後のデータ活用方法についても、お気軽にお問い合わせください。

**NSC**  
Nippon Statistics Center co.,Ltd.

株式会社 日本統計センター

URL <http://www.nihon-toukei.co.jp/>

東京(03)3847-1701 大阪(06)6441-5428  
北九州(093)521-3726